

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和7年〇月〇日 第〇校時 (50分)																										
(2) 場 所	1年1組教室																										
(3) 学年・学級	第1年1組 (35名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版) P64～65																								
(4) 単 元 名	安全な社会生活 (ア) 安全な社会づくり																										
(5) 指導する生徒の状況	【既習事項】 中学校では、傷害の防止の単元において、「交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因」、「交通事故などによる傷害の防止」、「自然災害による傷害の防止」、「応急手当」について学んでいる。 【単元のねらい】 - 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備に関わること及び交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて、理解することができるようにする。 - 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができるようにする。 【生徒の状況】 単元の事前アンケートでは約80%の生徒が通学に自転車を使用している。自転車乗車時のヘルメット着用率は20%である。交通事故に関する「ヒヤリ・ハット」をした経験がある生徒は約70%であった。保健の授業については積極的に取り組む姿が多く見られるが、他者とのコミュニケーションを苦手としている生徒が数名いる。授業ではペアワークやグループ活動を多く取り入れている。																										
(6) 指導計画 (全5時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次 (時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間目)</td> <td> 事故の現状と発生原因 ・事故の実態と被害の実態について説明を聞く。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて、資料をもとに整理する。 ・人的要因と環境要因に関わる対策をワークシートにまとめる。 </td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間目)</td> <td> 安全な社会の形成① ・安全のために必要な個人の行動について説明を聞く。 ・交通安全、防災、防犯など様々な場面で起こる個人の行動について、自分の考えをワークシートにまとめ、意見を共有する。 </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 安全な社会の形成② ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について考える。 ・安全な社会の形成に向けてまとめた資料をもとに発表する。 </td> <td>個人 グループ</td> <td>思 判・表</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間目) <本時> P64～65</td> <td> 交通安全① ・交通事故防止における個人の取組や交通環境の整備について説明を聞く。 ・交通事故における法的責任について説明を聞く。 ・交通事故防止について、資料を整理し個人の考えをまとめる。 </td> <td>一斉 個人</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 交通安全② ・前時までの学習を振り返る。 ・交通事故防止についてグループで話し合い、筋道を立ててまとめる。 ・まとめた内容を発表する。 ・単元を振り返り、学習した内容をこれからの生活にどのように生かしていくのかについて、ワークシートにまとめる。 </td> <td>グループ</td> <td>思 判・表 態度</td> </tr> </tbody> </table>			次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間目)	事故の現状と発生原因 ・事故の実態と被害の実態について説明を聞く。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて、資料をもとに整理する。 ・人的要因と環境要因に関わる対策をワークシートにまとめる。	一斉 個人 ペア	知識	第2次 (1時間目)	安全な社会の形成① ・安全のために必要な個人の行動について説明を聞く。 ・交通安全、防災、防犯など様々な場面で起こる個人の行動について、自分の考えをワークシートにまとめ、意見を共有する。	一斉 個人 グループ	知識	(2時間目)	安全な社会の形成② ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について考える。 ・安全な社会の形成に向けてまとめた資料をもとに発表する。	個人 グループ	思 判・表	第3次 (1時間目) <本時> P64～65	交通安全① ・交通事故防止における個人の取組や交通環境の整備について説明を聞く。 ・交通事故における法的責任について説明を聞く。 ・交通事故防止について、資料を整理し個人の考えをまとめる。	一斉 個人	知識	(2時間目)	交通安全② ・前時までの学習を振り返る。 ・交通事故防止についてグループで話し合い、筋道を立ててまとめる。 ・まとめた内容を発表する。 ・単元を振り返り、学習した内容をこれからの生活にどのように生かしていくのかについて、ワークシートにまとめる。	グループ	思 判・表 態度
次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																								
第1次 (1時間目)	事故の現状と発生原因 ・事故の実態と被害の実態について説明を聞く。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて、資料をもとに整理する。 ・人的要因と環境要因に関わる対策をワークシートにまとめる。	一斉 個人 ペア	知識																								
第2次 (1時間目)	安全な社会の形成① ・安全のために必要な個人の行動について説明を聞く。 ・交通安全、防災、防犯など様々な場面で起こる個人の行動について、自分の考えをワークシートにまとめ、意見を共有する。	一斉 個人 グループ	知識																								
(2時間目)	安全な社会の形成② ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について考える。 ・安全な社会の形成に向けてまとめた資料をもとに発表する。	個人 グループ	思 判・表																								
第3次 (1時間目) <本時> P64～65	交通安全① ・交通事故防止における個人の取組や交通環境の整備について説明を聞く。 ・交通事故における法的責任について説明を聞く。 ・交通事故防止について、資料を整理し個人の考えをまとめる。	一斉 個人	知識																								
(2時間目)	交通安全② ・前時までの学習を振り返る。 ・交通事故防止についてグループで話し合い、筋道を立ててまとめる。 ・まとめた内容を発表する。 ・単元を振り返り、学習した内容をこれからの生活にどのように生かしていくのかについて、ワークシートにまとめる。	グループ	思 判・表 態度																								

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和7年〇月〇日 第〇校時 (50分)																										
(2) 場 所	1年1組教室																										
(3) 学年・学級	第1年1組 (35名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版) P70~71																								
(4) 単 元 名	安全な社会生活 (イ) 応急手当																										
(5) 指導する生徒の状況	【既習事項】 中学校では、傷害の防止の単元において、「交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因」、「交通事故などによる傷害の防止」、「自然災害による傷害の防止」、「応急手当」について学んでいる。 【単元のねらい】 - 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて、理解できるようにする。 - 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができるようにする。 【生徒の状況】 単元の事前アンケートでは約80%の生徒が通学に自転車を使用している。自転車乗車時のヘルメット着用率は20%である。交通事故に関する「ヒヤリ・ハット」をした経験がある生徒は約70%であった。運動部活動の加入率は65%である。保健の授業については積極的に取り組む姿が多く見られるが、他者とのコミュニケーションを苦手としている生徒が数名いる。授業ではペアワークやグループ活動を多く取り入れている。																										
(6) 指導計画 (全5時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次 (時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間目)</td> <td> 応急手当の意義 - 応急手当の意義について説明を聞く。 - 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントについて、図などを見ながら説明を聞く。 - 応急手当について、習得した知識を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための方法をワークシートにまとめる。 </td> <td>一斉 個人</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間目) <本時> P70~71</td> <td> 日常的な応急手当① - 日常に起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて説明を聞く。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ワークシートにまとめる。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ペアで確認する。 </td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 日常的な応急手当② - 前時までの学習を振り返る。 - 体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順について、グループで確認しながら、実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。 </td> <td>個人 グループ</td> <td>思 判・表</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間目)</td> <td> 心肺蘇生法① - 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED (自動体外式除細動器) の使用などが必要であること及び方法の手順について説明を聞く。 - 社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを確認する。 </td> <td>一斉 個人</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>(2時間目)</td> <td> 心肺蘇生法② - 前時までの学習を振り返る。 - グループ毎に手順を確認しながら心肺蘇生法の実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。 </td> <td>グループ</td> <td>思 判・表 態度</td> </tr> </tbody> </table>			次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間目)	応急手当の意義 - 応急手当の意義について説明を聞く。 - 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントについて、図などを見ながら説明を聞く。 - 応急手当について、習得した知識を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための方法をワークシートにまとめる。	一斉 個人	知識	第2次 (1時間目) <本時> P70~71	日常的な応急手当① - 日常に起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて説明を聞く。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ワークシートにまとめる。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ペアで確認する。	一斉 個人 ペア	知識	(2時間目)	日常的な応急手当② - 前時までの学習を振り返る。 - 体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順について、グループで確認しながら、実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。	個人 グループ	思 判・表	第3次 (1時間目)	心肺蘇生法① - 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED (自動体外式除細動器) の使用などが必要であること及び方法の手順について説明を聞く。 - 社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを確認する。	一斉 個人	知識	(2時間目)	心肺蘇生法② - 前時までの学習を振り返る。 - グループ毎に手順を確認しながら心肺蘇生法の実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。	グループ	思 判・表 態度
次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																								
第1次 (1時間目)	応急手当の意義 - 応急手当の意義について説明を聞く。 - 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントについて、図などを見ながら説明を聞く。 - 応急手当について、習得した知識を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための方法をワークシートにまとめる。	一斉 個人	知識																								
第2次 (1時間目) <本時> P70~71	日常的な応急手当① - 日常に起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて説明を聞く。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ワークシートにまとめる。 - 基本的な応急手当の方法や手順について、ペアで確認する。	一斉 個人 ペア	知識																								
(2時間目)	日常的な応急手当② - 前時までの学習を振り返る。 - 体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順について、グループで確認しながら、実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。	個人 グループ	思 判・表																								
第3次 (1時間目)	心肺蘇生法① - 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED (自動体外式除細動器) の使用などが必要であること及び方法の手順について説明を聞く。 - 社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを確認する。	一斉 個人	知識																								
(2時間目)	心肺蘇生法② - 前時までの学習を振り返る。 - グループ毎に手順を確認しながら心肺蘇生法の実習を行う。 - 実習を通して学習した内容をグループ内で振り返る。	グループ	思 判・表 態度																								

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。